

# 大田区立池上福祉園

## 令和3年度事業計画

### 1. 運営方針

- ①利用者主体の良質なサービスをおこないます（「笑顔」・「待つ」ことを意識した支援の実践）。
- ②地域との関わりを大切にします（利用者理解の推進）。
- ③人権を常に意識し、礼儀（マナー）を重んじて行動します。

### 2. 職員等配置計画

職員 32名                  非常勤職員 9名                  嘱託医 2名                  合計 43名

### 3. 今年度の重点目標

法人重点推進事項 (1) 事業の機能強化 (5) 活力ある組織・経営基盤づくり			取組時期
1	新規事業の円滑な運営	内容 ・20年間培ってきた関係と新たに築く関係から紡ぎ出す、利用者が活躍できる環境づくり。 ・生活介護の定員拡大と、医療的ケアを必要とする利用者の居場所として東京都の地域活用型重症心身障害者通所事業を開始し、「地域生活支援拠点」として多様なニーズに対応。 ・地域生活を日中活動の場から支える体制づくりと関係機関との連携。	通年
法人重点推進事項 (3) 質の高い支援（虐待防止、権利擁護）			
2	活動プログラムの充実	内容 ・事業所PT活動を継続し、利用者にあわせた活動プログラムの考案と試行。 ・利用者の「楽しみ・やりがい・喜び」が散りばめられた魅力ある活動の提供。	通年
法人重点推進事項 (4) 福祉人材の確保・育成・定着			
3	人材育成とサービス	内容 ・日々の振り返りや事例検討での対話を繰り返すことで成長する仲間、チームづくり。 ・マニュアルの再編、更新を通じた支援の振り返りと活用による職員間の共通認識の確立。	通年
法人重点推進事項 (2) 地域公益活動の推進			
4	開かれた事業所づくり、地域連携	内容 ・地域と共におこなう活動の実施。 ・利用者や外部講師等と共に企画する新しい方法を用いた地域向けイベント企画、実施。	通年

		<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域行事・活動への参加、協力。</li> <li>・地域の皆様への設備・物品の貸出。</li> </ul>	
--	--	---	--

#### 4. 利用者受入計画

在籍	63名（うち重心事業利用者4名）	新規利用者	9名（うち重心事業利用者4名）	定員	60名（うち重心事業利用者5名）
年間開所日数	238日	利用率目標		85.3%（昨年度比同率）	

#### 5. 年間行事計画（詳細別紙）

4月	入園式	10月	しょうがい者の日のつどい
5月		11月	地域ふれあいコンサート いけいけハートフルフェスタ
6月		12月	クリスマス会
7月	利用者歯科検診	1月	成人を祝う会
8月	利用者健康診断・池上まつり	2月	
9月		3月	

※宿泊旅行については、別途設定予定

#### 6. 権利擁護・虐待防止の取り組み

\*平成31年3月の「障害者虐待防止特別委員会答申書」に基づく取り組み

「虐待防止に向けた体制づくりと組織の取り組み・仕組み等の活性化」

	実施項目	具体的取組
1	虐待防止 権利擁護	<p>「徹底した現場主義の事例検討を軸とした（寄り添う）伴走型支援で自立型権利擁護へ転換を推進する」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>*「法人サービス利用者の権利擁護規程」「社会福祉法人大田幸陽会サービス提供ガイドライン」等を踏まえた支援</li> <li>*「虐待防止対応要綱」に基づく法人および事業所虐待防止・人権委員会の取り組みの推進</li> <li>*身体拘束をなくす取り組み</li> <li>*日々の出来事からの気づき、振り返りの視点を取り扱い、朝夕礼等で話し、権利擁護意識の共有につなげるよう取り組む</li> </ul>
2	苦情解決	「苦情解決制度に関する要綱」に基づいて適切に対応
3	個人情報保護	「個人情報保護規程」および「特定個人情報取扱規程」に基づいて適切に対応

#### 7. 人材確保・育成とサービスの質向上の取り組み・研修計画（\*事業所計画）

目的：法人職員・福祉専門職としての自覚を持ち、サービスの質の向上を目指す。

\*平成31年3月の「障害者虐待防止特別委員会答申書」に基づく取り組み

「専門性に基づく支援のスーパーバイザー育成」

	実施項目	具体的取組
1	OJT・職場内研修	日々の支援の振り返り、事例検討を軸とした学び合い キャリアパスを活用した職員の成長を支える取り組み OJT 推進、事例検討会の実施、外部研修受講者による報告会や勉強会の実施
2	外部研修	職員の意欲とスキルアップの向上を目指した研修への参加
3	自己研鑽支援	資格取得や知識を深めるための情報の提供

## 8, 地域公益活動の推進

	実施項目	具体的内容
1	第 20 回いけいけハートフルフェスタ	「たくさんの笑顔とともに暮らすまち」をサブタイトルに、地域、関係機関などで組織する実行委員会形式で実施。
2	地域交流	池上DEエクササイズ（地域共生型のポールウォーキング）等の地域向け活動の企画、実施。
3	施設開放	土日祝日の施設開放
4	地域清掃	地域の清掃（ゴミ拾い）の実施（不定期）

## 9, 地域・関係機関連携

	実施項目	具体的内容
1	相談支援、地域生活支援、介護事業等との連携強化	関係者会議の参加 24 時間 365 日の生活支援のためのネットワークの構築 他事業所との交流活動
2	地域交流・連携	ユニバーサル駅伝・納涼祭・池上まつり（池上まちおこしの会）・地域ふれあいコンサート（青少対）・スポ GOMI 大会・笑いヨガ（民生委員）・地域花壇の水やり（なでしこの会）
3	福祉人材受入	社会福祉士実習、介護等体験、職場体験の受入れ、実習指導者講習の受講者・学生指導者を増やす取り組み
4	広報活動等	園だより発行、ホームページ更新、池上まちおこしの会の「池上土産」として作業で製作した梅皿を販売

## 10, 法令遵守に関する取り組み

\*平成 31 年 3 月の「障害者虐待防止特別委員会答申書」に基づく取り組み

「経験職員等の多様な人材を活かしあう事業所づくり」

	実施項目	具体的取組
1	法令遵守	法令遵守推進に関する関係法令・条例・法人諸規程等に基づき適切に対応 法人ハラスメント防止規程に基づき、ハラスメントの防止策に取り組む
2	「働きやすい職	福祉サービス第三者評価を受審、活用

場」づくり	「TOKYO 働きやすい福祉の職場宣言」の継続した取り組み推進及び、「働き方改革」に対応した法人の取り組みとの連携
-------	---

### 1 1, 危機管理計画

	実施項目	具体的取組
1	事業継続(BCP)	災害別事業継続(BCP)の整備、福祉避難所運営計画
2	防災関連	定期防災訓練・福祉避難所開設検討会および訓練 地域防災訓練に参加
3	緊急時対応	「緊急時対応マニュアル」により対応

### 1 2, その他

令和2年度 福祉サービス第三者評価受審結果を踏まえた改善計画に基づき、サービス向上に向けた取り組みの実施

#### ○特に良いと思われる点

タイトル1	地域に根ざした行事などの企画、参加などにより、園に対する地域からの理解と役割が浸透している。
内容	地域向けイベントの実施、開催、地域行事・活動への参加、地域関係機関の会合の参加、土日祝日の施設開放の取り組み等を継続し、地域を招き入れる企画の検討など、新たな取り組みも模索していく。
タイトル2	利用者に寄り添い、利用者の権利と意思を尊重した支援で、利用者の表情は明るくリラックスした雰囲気を醸し出している。
内容	引き続き利用者個々の希望やニーズに合わせた活動を検討し提供しながら、事例検討を通して利用者の理解を深め、虐待防止・権利擁護の取り組み、利用者主体の支援に努める。
タイトル3	「待つ」ことを意識した支援の実践に取り組み利用者の励みとなっている。
内容	利用者が本来持っている力を引き出す支援を展開する。利用者が力を発揮しやすい環境を作り利用者の動きを見守り、待つ姿勢での支援に努めていく。職員集団の共通価値として定着するよう研修を重ねる。

#### ○さらなる改善が望まれる点

タイトル1	ヒヤリハットの事例検討について職員間の理解を高めるために共通認識できる場の創出の工夫。
内容	ヒヤリハット事例の振り返りが定着する仕組みとして事例検討をおこない、職員の共通の学びの場とする。
タイトル2	生かされるマニュアルの整備。
内容	支援の振り返りからマニュアルの再編、更新につなげる。マニュアル活用による職員間の共通認識の確立にむけて取り組む。

タイトル3	障害の重度化等に対応するため職員一人ひとりの質の向上を図ることにより一層の支援の充実を期待する。
内容	支援実践で得る経験に、研修・事例検討会・勉強会等、事業所内外での学びをあてながら「知識・技術の身体化」を目指しながら職員育成を進める。利用者や職員間の対話、支え合いの関係性など、人と人との関わりから自らを成長させていくことができる人材を輩出し、利用者の支援の充実に還元する。

別紙添付 令和3年度年間計画